

瑞議発第227号
令和3年3月16日

瑞穂町長 杉浦 裕之 様

瑞穂町議会
議長 古宮 郁夫

交通対策特別委員会
委員長 下野 義子

提 言 書

日頃、議会活動及び運営に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
公共交通のあり方を検討する上で、地域公共交通会議を設置し、多くの住民の声をもとに、コミュニティバスの実証実験を決定したことは評価します。

しかしながら、多くの住民に利用していただける事業を目指す上で、現段階で、下記について取り組みを検討すべき事項として提言いたします。

なお、コミュニティバスの実証実験の進捗状況については、議会への情報提供をしていただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 各地区において、住民が主体的に意見やニーズを集約し、提案できる仕組みの構築
- 2 事業の規模を考慮し、担当部署の設置
- 3 実証実験開始後、課題等に対する柔軟な対応と、その『見える化』
- 4 事業化に向けて、利便性の向上の一助として、ロケーションシステムの導入